

地域連携推進会議議事録

NPO 法人ダンボの会 グループホームダンボ
(社福) 夢 21 福祉会 サンハイム睦ヶ丘 共催

◆実施日時：2026 年 2 月 5 日 14:00～16:30

◆参加者

- ・睦ヶ丘町内会：根本会長
 - ・民生委員：大庭さん 牧野さん
 - ・ダンボ：入居者 4 名、浅野管理者、原田理事長、山内看護師
 - ・サンハイム睦ヶ丘：入居者全員 夏苺職員 山口管理者 岩山業務執行理事
 - ・家族：夢 21 福祉会 瀧澤さん
- ・仏向ケアプラザ：谷口さん 三富さん
合計 22 名

◆見学

①グループホームダンボの一番館と二番館を見学。建物の年数は経っていたが、どちらも掃除が行き届いていて清潔な印象。また利用者さんの自己紹介時には拍手で盛り上げてくれるなど、ウェルカムな雰囲気であった。車いすの方がいらっしゃるため廊下やトイレお風呂などいずれも広い。お風呂にはリフトがついていた。床には床暖房がついていて足元から温かく快適であった。玄関がフラットになっており車イスが利用しやすい。

②その後サンハイム睦ヶ丘に移動。歩いてみると意外に近かったため、災害時などの協力ができると良いと思った。サンハイム睦ヶ丘でも皆さん快く部屋をみせてくれた。各部屋に洗濯物を干すポールが張られていて便利だと思った。サンハイム睦ヶ丘は広い収納スペースが設けてあり、収納スペース内は整理整頓が行き届いていた。薬の管理が徹底しており、かつ分かりやすく分別されていた。キッチンシンクが職員用、居住者用と 2ヶ所横並びに工夫された設計で、楽しく家事をしている姿が目についた。職員の事務スペース、仮眠室が独立していて業務が取り組みやすいのではと感じた。日々の記録の書式がとても参考になった。

◆意見交換（夢 21 福祉会本部）感想等

グループホーム見学の感想から始まり、地域連携の重要性、そして各入居者の仕事内容の紹介へと繋がる、協力的で真摯な情報交換の場であった。

会議全体の雰囲気は肯定的かつ協力的で、参加者は互いの話に真剣に耳を傾けていた。前半はグループホームの運営や防災といった真面目なテーマで、後半はそれぞれの仕事内容や自主製品を紹介し合う和やかな雰囲気へと移り変わった。全体を通して、参加者同士が高い関心を持って積極的に関わり合う様子が見られた。

会議の要旨

この会議は、参加者たちが見学したグループホームの感想を共有するところから始まった。お互いのホームの清潔さや家庭的な雰囲気、入居者の明るい様子に多くの人が感銘を受け、特に手作りのクッキーやコーヒーのおもてなしが好評でした。話は、過去の悪質事業者による事件をきっかけに地域連携推進会議が始まったという真剣な背景説明に移り、災害時におけるグループホーム間の協力体制の重要性が強調されました。具体的には、睦ヶ丘町内会で 10 月に予定されている地域防災訓練への参加が呼びかけられました。

その後、話題は各利用者の仕事内容の紹介へと移りました。夢 21 では病院で使われるカップの組み立てやコインロッカーの鍵の作成、ダンボでは医療用カーテンレールのフックつけなど、多岐にわたる作業が説明されました。特に、手先の器用さが求められる活動ホームふたまたがわの刺繍や裂き織りの手作り製品は「職人技」と称賛を浴びました。居住者・利用者の皆さんが自分の言葉で気持ちを伝えていたのが印象的でした。会話の最後には、地域での交流を深めるため、お互いに顔を覚えて挨拶し合うことが提案され、協力的な雰囲気で締めくくられました。

今回、町内会長、民生委員、ケアプラザ職員にも参加していただき、地域の中で両グループホームの存在を知っていただきお互いに理解を深めることができたことが大きな収穫であった。